

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和01年08月07日

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その2)(防災・安全)												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	貝塚市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、災害に強い社会基盤の整備を進める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	826	A	823	B	0	C	3	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.36	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	雨水管路(北境川排水区)における老朽化している施設の改築実施率を0.0%(H27当初)から100.0%(H31末)に増加させる。 雨水管路における長寿命化対策改善実施率(北境川排水区) =(長寿命化対策実施済みの延長(m)/老朽化している管路の延長(m)) 283.1m	0%	100%	100%
2	人孔蓋(麻生中清見外1処理分区)における老朽化している蓋の改築実施率を0.0%(H27当初)から100.0%(H31末)に増加させる。 人孔蓋における長寿命化対策改善実施率(麻生中清見外1処理分区) =(長寿命化対策実施済みの人孔蓋数(基)/老朽化している人孔蓋数(基)) 93基	0%	100%	100%
3	雨水吐口(脇浜北八・九・十排水区)における整備進捗率を0.0%(H27当初)から100.0%(H31末)に増加させる。 雨水吐口の整備進捗率(脇浜北八・九・十) =(整備済みの雨水吐口(箇所)/整備を要する雨水吐口(箇所)) 3箇所	0%	100%	100%
4	污水管渠点検調査の実施率を0.0%(H27当初)から100.0%(H31末)に増加させる。 対象となる污水管渠の点検調査実施率 =(污水管渠点検調査済みの延長(m)/污水管渠点検調査対象延長(m)) 2500m	0%	0%	100%
5	雨水ポンプ場の設備更新設計および耐震設計の実施率を0.0%(H27当初)から100.0%(H31末)に増加させる。 対象となる雨水ポンプ場の設備更新設計および耐震設計の実施率 =(設計済みの雨水ポンプ場(箇所)/設計対象となる雨水ポンプ場(箇所)) 1箇所	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(雨水)	改築	北境川排水区長寿命化対策実施(管路)	管更生 L=283.1m	貝塚市						318	-	策定済
	下水道長寿命化計画																		
	A07-002	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(汚水)	改築	麻生中清見外1処理分区長寿命化対策実施(人孔蓋)	人孔蓋 93基	貝塚市						34	-	策定済
	下水道長寿命化計画																		
	A07-003	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(雨水)	新設	脇浜北第八・九・十排水区吐口施設設置	吐口 3箇所	貝塚市						31	-	-
	下水道長寿命化計画																		
	A07-004	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(汚水)	改築	ストックマネジメント計画策定	計画策定	貝塚市						243	-	-
	種別1は外にポンプ場、管渠(雨水)を含む、下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-005	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(雨水)	新設	脇浜第一排水区雨水管整備	実施設計	貝塚市						110	-	-
	下水道長寿命化計画																		
	A07-006	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水シミュレーション	浸水シミュレーション	貝塚市						27	-	-
	下水道長寿命化計画																		

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	貝塚市	直接	-	ポンプ場	改築	ストックマネジメント計画実施事業	改築事業 汚水管渠点検調査	貝塚市						40	-	策定済	
		種別1は外に管渠(汚水)を含む、下水道ストックマネジメント計画																		
	A07-008	下水道	一般	貝塚市	直接	-	ポンプ場	改築	耐震化事業	耐震化事業	貝塚市							20	-	-
											小計						823			
											合計						823			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	貝塚市	直接	-	管渠（ 雨水）	新設	内水ハザードマップ作成	内水ハザードマップ作成	貝塚市						3	-	-
基幹事業（A07-006）に伴い、内水ハザードマップを活用することにより住民自身の自助・共助意識、防災意識の向上を図り、被害の軽減を図る。																			
											小計						3		
											合計						3		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	44	25	50	31	19
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	2.5
交付額 (c=a+b)	44	25	50	31	21.5
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	44	25	50	31	21.5
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

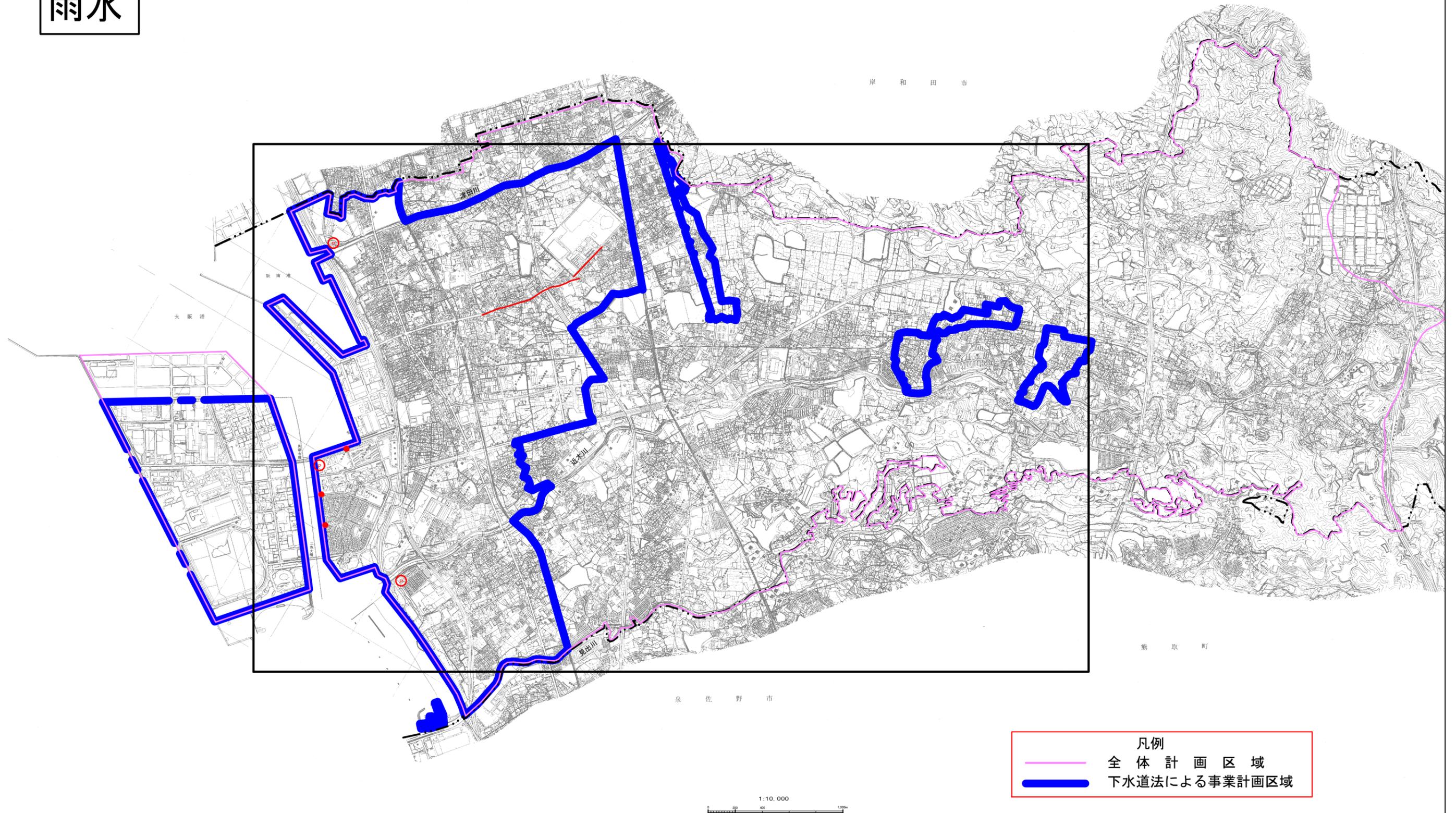
計画の名称： 貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり（その2）（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 1) 計画の目標が「第5次貝塚市総合計画」など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等 2) 「大阪湾流域別下水道整備総合計画」など、上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

(参考様式3)

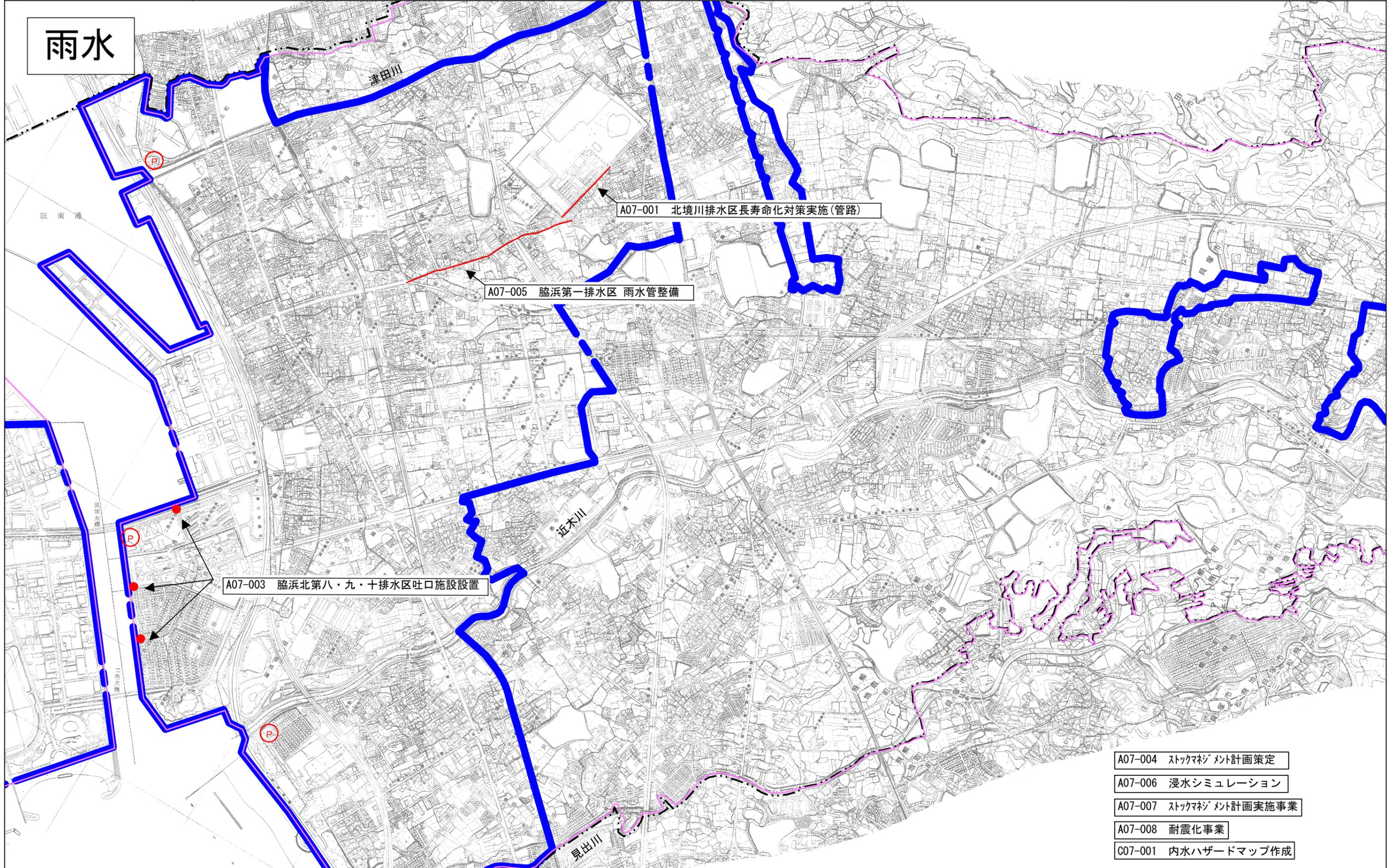
計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その2) (防災・安全)
計画の期間	平成27年度～平成31年度 (5年間)

雨水



(参考様式3)

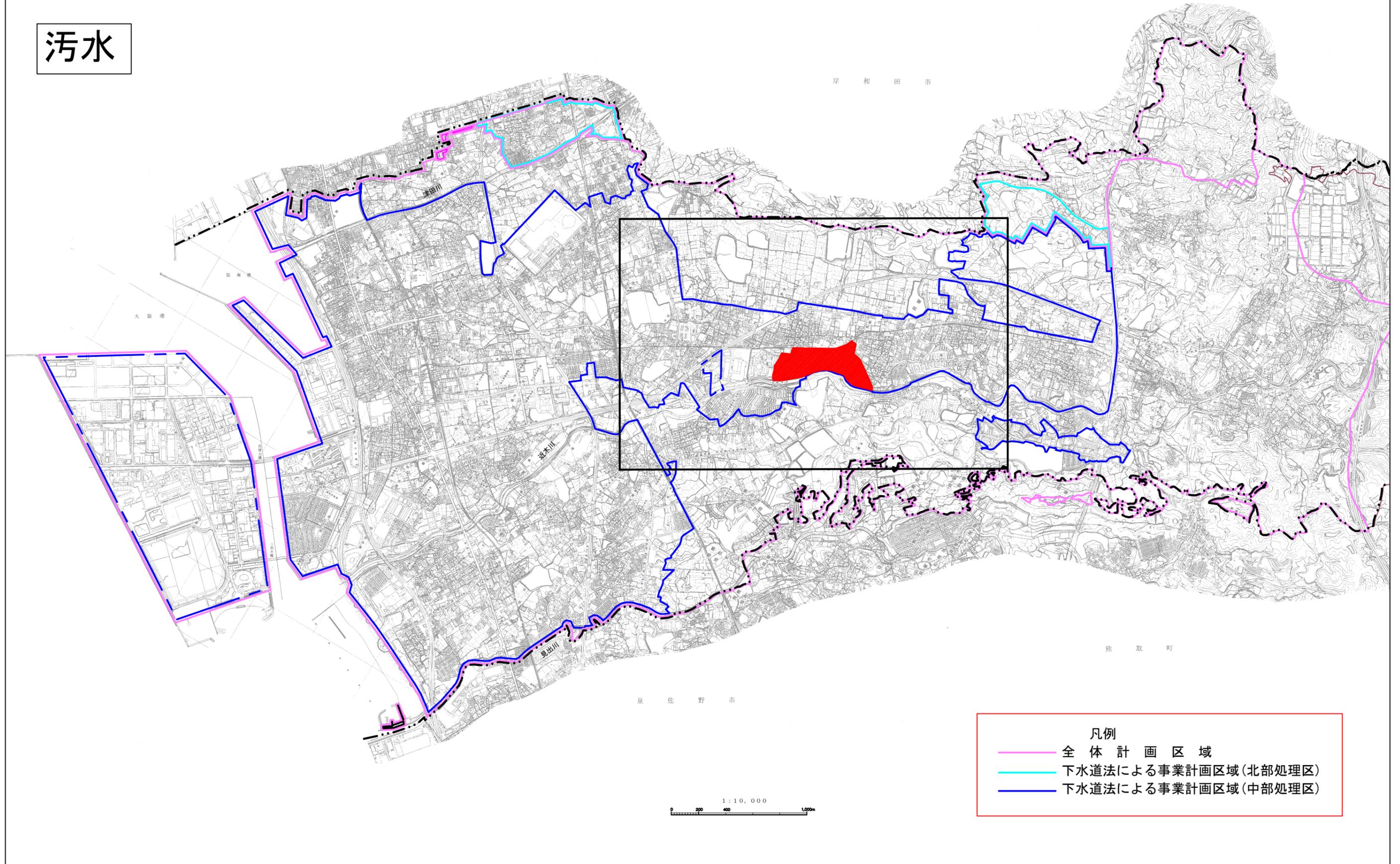
計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり(その2)(防災・安全)
計画の期間	平成27年度～平成31年度 (5年間)



(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり (その2) (防災・安全)
計画の期間	平成27年度～平成31年度 (5年間)

汚水



(参考様式3)

計画の名称	貝塚市生活環境の改善と災害に強いまちづくり (その2)(防災・安全)
計画の期間	平成27年度～平成31年度 (5年間)

